
平成30年度（2018年度）事業報告書

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

学校法人 共済学院

平成 30 年度（2018 年度）

事業報告書

目次

I 法人の概要

1. 建学の精神	1P
2. 学校法人の沿革	1P
3. 設置する学校・学部・学科等	1P
4. 学校・学部・学科等の学生数の状況	2P
5. 役員の概要	3P
6. 評議員の概要	3P
7. 教職員の概要	4P

II 事業の概要

1. 事業の概要	6P
(1) はじめに	6P
(2) 教育方針	6P
(3) 学生の受入れ	6P
(4) 学生支援	6P
(5) F D ・ S D	7P
(6) 大学校務	7P
(7) 入学試験	8P
(8) オープンキャンパス	10P
(9) 地域貢献活動	10P
2. 主な事業の目的・計画及びその他進捗状況	12P
(1) 教育活動	12P
(2) 研究活動	12P
(3) 施設等の状況	12P
(4) 学生募集状況	13P
(5) 学生の進路状況	14P
(6) 幸手市との関係	15P
(7) 学院祭	15P
(8) 認証評価	15P
(9) 看護学実習	15P
(10) 公衆衛生看護学実習	16P
(11) 理学療法臨床実習	16P

Ⅲ 財務の概要

1 平成30年度の決算の概要	・	・	・	・	・	18P
(1) 資金収支計算書	・	・	・	・	・	18P・23P
(2) 事業活動収支計算書	・	・	・	・	・	20P・24P
(3) 貸借対照表	・	・	・	・	・	21P・26P

学校法人共済学院 平成 30 年度事業報告書

I 法人の概要

1. 建学の精神(建学の精神と理念)

我が国は、第 2 次世界大戦の敗戦により荒廃した社会の中で文字どおりゼロからスタートしました。そして戦後 72 年を迎え、この間、国民のたゆまぬ努力により、科学技術の高度な進展とともに工業技術の発展を遂げ、世界有数の経済大国・技術大国に成長しましたが、人間性の高揚においては未だしの感あり、今後は文化大国を目指して、前進致さねばなりません。一方、乳幼児死亡率の低下と公衆衛生ならびに医療の向上により国民の寿命は飛躍的に延び、今日ではいわゆる高齢化社会を迎えたところであり、今後ますます高齢者が増加すると予測されています。

このような高齢化社会にあって、すべての国民が豊かな老後を過ごすためには、国民一人ひとりが心身ともに健康で生甲斐をもって日々充実した生活を送ることが必須であります。このために医学の分野のみならず、保健医療福祉の分野の充実・拡充が急務となっております。

今日の医療現場では、医師のみならず看護師、臨床心理技術者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の医療専門スタッフがチームを組み、一体的にケアに当たるいわゆるチーム医療の必要性が叫ばれており、それぞれの専門職の養成と資質の向上が緊急の課題となっております。

このような社会の要請に鑑み、私たちは、保健医療分野の充実を図るため「日本保健医療大学」を設立し、気品の泉源、智徳の模範を目指し「人間性(儒教の三綱五常の精神を基本とする)の高揚(人間性の復活から、人間性の高揚へ)と、共存共栄の精神(共済主義、又は共済主義精神)」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる医療専門職を育成し、人類の福祉と平和のために活力のあるより高度な社会の実現に貢献しようとするものであります。

2. 学校法人の沿革

(1)法人設立年月：平成 21 年 10 月 学校法人共済学園設立

平成 28 年 2 月 学校法人共済学院に法人名を変更

(2)学校設置年月等：平成 22 年 4 月 日本保健医療大学(保健医療学部看護学科)開学

平成 29 年 4 月 日本保健医療大学保健医療学部に理学療法学科
設置

3. 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘要
日本保健医療大学	平成 22 年 4 月	保健医療学部 看護学科 理学療法学科	平成 29 年 4 月開設

4. 学校・学部・学科等の学生数の状況 (平成 30 年 5 月 1 日現在) (単位:人)

学校名		入学定員	収容定員数	現員数	摘要
日本保健医療大学	保健医療学部 看護学科	100	400	409	
	保健医療学部 理学療法学科	80	160	81	
	保健医療学部	180	560	490	

日本保健医療大学 学生数内訳 (平成 30 年 5 月 1 日現在)

区分		男	女	計
1 年次	看護学科	19	95	114
	理学療法学科	41	13	54
	保健医療学部 計	60	108	168
2 年次	看護学科	26	87	113
	理学療法学科	23	4	27
	保健医療学部 計	49	91	140
3 年次	看護学科	13	62	75
	理学療法学科	—	—	—
	保健医療学部 計	13	62	75
4 年次	看護学科	20	87	107
	理学療法学科	—	—	—
	保健医療学部 計	20	87	107
合計	看護学科	78	331	409
	理学療法学科	64	17	81
	保健医療学部 計	142	348	490

5. 役員概要

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

定員数 理事 10 人～12 人、監事 2 人

区分	氏名
理事長	作田 勉
理事	平良 専純
理事	村井 仁昭
理事	柳谷 良子
理事	三角 正明
理事	松井 倫子
理事	石井 有二
理事	金井 ヒロ
理事	金海 博之
理事	宮川 章義
監事	金森 浩之
監事	太田 幹夫

6. 評議員概要

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

定員数 9 人～11 人

氏名	氏名
作田 勉	杉原 孝俊
平良 専純	西須 祐三
村井 仁昭	清流 忠見
柳谷 良子	澁井 義徳
三角 正明	生田 英輔
松井 倫子	早崎 知幸
石井 有二	作田 慶輔
金井 ヒロ	岡本 茂典
金海 博之	金海 哲也
宮川 章義	角 憲明
古田 榮敬	金曾 好信
川村 勇造	

7. 教職員の概要

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

区 分		学校法人	日本保健医療大学	計
教 員	本務	0	58	58
	兼務	0	65	65
職 員	本務	2	15	17
	兼務	0	12	12

日本保健医療大学 分野別・職位別・男女別 専任教員数(平成 30 年 5 月 1 日現在)

区 分		共通教育	看護学	理学療法学	計
学長・教授	男	4	1	4	9
	女	3	6	0	9
	計	7	7	4	18
特任教授	男	2	0	0	2
	女	1	1	0	2
	計	3	1	0	4
准教授	男	1	0	1	2
	女	0	7	0	7
	計	1	7	1	9
講 師	男	1	1	2	4
	女	0	5	0	5
	計	1	6	2	9
助 教	男	0	1	2	3
	女	0	5	0	5
	計	0	6	2	8
助 手	男	0	1	2	3
	女	0	6	0	6
	計	0	7	2	9
合 計	男	8	4	11	23
	女	4	31	0	35
	計	12	35	11	58

【注】「共通教育」は、英語、基礎医学等の科目を担当する教員、「看護学」は看護学を専門分野とする教員、「理学療法学」は理学療法学を専門分野とする教員。

学校法人共済学院・日本保健医療大学 職員数

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

【注】北キャンパス=幸手北キャンパス、南キャンパス=幸手南キャンパス

区 分	専任			非常勤			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務局長【注1】	1	0	1	0	0	0	1	0	1
総務課(北キャンパス)	2	2	5	1	2	3	3	4	7
総務課(南キャンパス) 【注2】	1	0	1	0	0	0	1	0	1
総務課(東京事務所)	2	0	2	0	0	0	2	0	2
教務課(北キャンパス)	2	2	4	0	6	6	2	8	10
教務課(南キャンパス)	2	1	4	1	2	3	4	3	7
図書館【注3】	0	0	0	0	2	2	0	2	2
計	10	5	15	2	12	14	12	17	29

【注1】事務局長は幸手南キャンパスに常駐。

【注2】総務課(南キャンパス)は、上記以外に派遣職員 1 名。

【注3】図書館は、上記以外に業務委託職員(北キャンパス・南キャンパス併任)2 名、業務委託職員(北キャンパス)2 名、業務委託職員(南キャンパス)1 名。

II 事業の概要

1. 事業の概要

(1)はじめに

平成 30 年度においては、日本保健医療大学保健医療学部看護学科(平成 22 年 4 月開設)は、9 年目を迎え、平成 29 年度に新たに設置した理学療法学科は 2 年目を迎えた。近年の 18 歳人口が減少する中、相次ぐ看護学科、理学療法学科等の医療系学科の新設に加え、情報系や国際系を始めとする文系学部の人気上昇など、本学を取り巻く環境は一層厳しさを増している。

このような中、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーの 3 つの方針に基づく学生募集活動および入試の早期化、多様化に対応する広報活動に取り組む他、教育面では平成 29 年 3 月に公益財団法人日本高等教育評価機構から、本学は同機構が定める大学評価基準に適合している、という認定を受けるなど内部質保証についても取り組んでいる。

(2)教育方針

学校教育法施行規則の改正(平成 29 年 4 月 1 日施行)において、すべての大学等において、3 つの方針①入学者の受入れに関する方針(アドミッションポリシー)②教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラムポリシー)③卒業の認定及び学位授与に関する方針(ディプロマポリシー)を一貫性あるものとして策定し、公表することが義務付けられた。

本学においては、この 3 つの方針について、人材育成目標や教育課程との一貫性及び整合性を検証し、本学ホームページ及び「学生便覧」等で公表した。あわせて、3 つの方針の実質化に向けて、基礎教育・専門教育においてさらなる学修効果を上げるために、授業方法や評価方法の整理、カリキュラムの見直しを行っている。

(3)学生の受入れ

平成 30 年 4 月に日本保健医療大学保健医療学部看護学科では 9 回生となる 114 名の学生を、理学療法学科では 2 回生となる 54 名の合計 168 名の学生が入学した。

(4)学生支援

学生へのきめ細かい、親身な教育・指導の一環として、担任制やオフィスアワーを設けている。理学療法学科では、アドバイザー制を実施し面談や個別フォローを行った。

また、平成 30 年 12 月に学生相談室を設置し、学生相談の受付を開始した。同室には看護師を配置し、来室した学生からの相談に応じている。

就職支援では、看護学科では 4 月に就職ガイダンスを開催し、就職活動の心得、注意点を確認したほか、外部講師による就職支援講演を実施し、エントリーシート、履歴書の書き方、個人面接の対策などを修得させた。また、学生一人一人の適性を把握した上での就職支援を行った。

理学療法学科では低学年より就職について理解、活動できるように就職支援室を新たに設置した。

(5)FD・SD(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

建学の精神に基づき、本学の教育理念及び教育目標に沿って行う授業の改善に資するとともに、教員個々の教育研究能力、資質を高めることを目的として、FD委員会主催による4回の研修会を開催した。本年度は、看護学科、理学療法学科それぞれで実習をテーマに研修を行った。看護学科では学生を伸ばすための指導の工夫について事例発表を通して、活発な意見交換がなされ、理学療法学科では初めての実習ということで、指導や評価の方法を確認し合い、全体の統一を図った。また、4回目の研修は、本学学生の学修状況を教員間で共有し、授業の改善のために必要な事項について意見交換を行い、各教員が授業展開・指導に生かせるものとなった。今後は、計画に基づいて教育課程の実施を着実にを行うとともに、一層の教育効果の向上を目指して教育方法等の工夫に努めていく。

(6)大学校務

平成30年4月2日(月)	第9回入学式・保護者説明会
平成30年4月3日(火)～6日(金)	新入生・在学生ガイダンス・健康診断
平成30年4月9日(月)	前期授業開始
平成30年5月19日(土)20日(日)	日本保健医療大学桜祭(学院祭)
平成30年5月～7月	公衆衛生看護学実習〔看護学科4年生〕
平成30年7月～9月	課題別実習〔看護学科4年生〕
平成30年7月	基礎看護学実習Ⅰ〔看護学科1年生〕
平成30年8月～9月	基礎看護学実習Ⅱ〔看護学科2年生〕
平成30年8月～3月	各領域実習〔看護学科3年生〕 小児看護学実習、母性看護学実習、成人看護学実習、老年看護学実習、老年看護学実習、精神看護学実習、在宅看護論実習
平成30年8月7日(火)～9月24日(月)	夏期休暇
平成30年9月25日(火)～	後期授業開始
平成30年12月22日(土)～平成31年1月6日(日)	冬期休暇
平成31年1月7日(月)	授業再開
平成31年2月～3月	検査・測定実習〔理学療法学科2年生〕
平成31年2月4日(月)～3月31日(土)	春期休暇
平成31年3月8日(金)	学位授与式

(7)入学試験

選抜入試・高校推薦入試 試験日

平成 30 年 8 月 6 日(月)	第 1 回選抜入試
平成 30 年 8 月 24 日(金)	第 2 回選抜入試
平成 30 年 9 月 22 日(土)	第 3 回選抜入試
平成 30 年 10 月 7 日(日)	第 4 回選抜入試
平成 30 年 10 月 21 日(日)	第 5 回選抜入試
平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)	第 1 回高校推薦入試、第 6 回選抜入試
平成 30 年 11 月 4 日(日)	第 2 回高校推薦入試、第 7 回選抜入試
平成 30 年 11 月 18 日(日)	第 3 回高校推薦入試、第 8 回選抜入試
平成 30 年 12 月 1 日(土)	第 4 回高校推薦入試、第 9 回選抜入試
平成 30 年 12 月 9 日(日)	第 5 回高校推薦入試、第 10 回選抜入試
平成 30 年 12 月 24 日(月・祝)	第 6 回高校推薦入試、第 11 回選抜入試
平成 31 年 1 月 13 日(日)	第 7 回高校推薦入試、第 12 回選抜入試

一般入試 試験日

平成 31 年 1 月 26 日(土)	第 1 回一般入試
平成 31 年 1 月 27 日(日)	第 2 回一般入試
平成 31 年 2 月 2 日(土)	第 3 回一般入試
平成 31 年 2 月 3 日(日)	第 4 回一般入試
平成 31 年 2 月 17 日(日)	第 5 回一般入試
平成 31 年 3 月 2 日(土)	第 6 回一般入試
平成 31 年 3 月 21 日(水・祝)	第 7 回一般入試

センター試験利用入試 出願期間

平成 31 年 1 月 7 日(月)～2 月 6 日(水)	第 1 回センター試験利用入試
平成 31 年 2 月 12 日(火)～2 月 18 日(月)	第 2 回センター試験利用入試
平成 31 年 3 月 2 日(土)～3 月 5 日(火)	第 3 回センター試験利用入試

2019年度入学試験結果

保健医療学部看護学科

2019年3月31日現在

区 分	入学志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
AO入試	7	29	36	6	29	35	6	28	34	6	27	33
社会人入試	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
帰国生徒入試	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学生入試	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1
推薦入試(指定校)	9	18	27	9	18	27	9	18	27	9	17	26
推薦入試(公募制)	4	10	14	4	10	14	3	9	12	3	9	12
センター利用入試	13	33	46	13	33	46	6	27	33	2	1	3
一般入試	28	74	102	24	69	93	12	55	67	7	25	32
計	62	166	228	57	161	218	36	138	174	27	80	107

保健医療学部理学療法学科

2019年3月31日現在

区 分	入学志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
AO入試	8	6	14	8	6	14	8	6	14	8	6	14
社会人入試	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0
帰国生徒入試	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学生入試	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
推薦入試(指定校)	8	2	10	8	2	10	8	2	10	8	2	10
推薦入試(公募制)	4	1	5	4	1	5	4	1	5	4	1	5
センター利用入試	14	7	21	14	7	21	12	7	19	1	2	3
一般入試	53	15	68	50	14	64	42	13	55	10	4	14
計	88	31	119	85	30	115	75	29	104	31	15	46

(8)オープンキャンパス(平成 31 年度入学生対象)

平成 30 年 3 月 24 日(土)	第 1 回オープンキャンパス
平成 30 年 3 月 29 日(木)	第 2 回オープンキャンパス
平成 30 年 5 月 27 日(日)	第 3 回オープンキャンパス
平成 30 年 6 月 10 日(日)	第 4 回オープンキャンパス
平成 30 年 6 月 24 日(日)	第 5 回オープンキャンパス
平成 30 年 7 月 22 日(日)	第 6 回オープンキャンパス
平成 30 年 7 月 29 日(日)	第 1 回入試相談会
平成 30 年 8 月 5 日(日)	第 7 回オープンキャンパス
平成 30 年 8 月 19 日(日)	第 2 回入試相談会
平成 30 年 8 月 25 日(土)	第 8 回オープンキャンパス
平成 30 年 9 月 16 日(日)	第 9 回オープンキャンパス
平成 30 年 9 月 30 日(日)	第 3 回入試相談会
平成 30 年 10 月 28 日(日)	第 10 回オープンキャンパス
平成 30 年 11 月 11 日(日)	第 4 回入試相談会
平成 30 年 11 月 25 日(日)	第 11 回オープンキャンパス
平成 30 年 12 月 18 日(日)	第 12 回オープンキャンパス

(9)地域貢献活動

ア. 公開講座

第 12 回 日本保健医療大学 公開講座

(後援:幸手市、幸手市教育委員会、幸手市社会福祉協議会)

日 時:平成 30 年 12 月 8 日(土)13:30~16:40(13:00 開場)

場 所:日本保健医療大学 幸手南キャンパス 5F 505 教室

(埼玉県幸手市平須賀 2-555)

定 員:100 人(申込み順)

参加費:無料

テーマ: ~未来につなぐ幸せの手~ つたえよう つながろう 世代と世代

講演 1:食育って何?~地産地消と埼玉の郷土料理~

講 師:板谷 幸恵 (日本保健医療大学非常勤講師、女子栄養大学名誉教授)

講演 2:若年性認知症の母と生きる~それは小さな物忘れからの始まり~

講 師:岩佐 まり (フリーアナウンサー)

イ. 地域の講演会参画

幸手市区長会講演会

(主催:幸手市区長会 共催:幸手市 後援:幸手市コミュニティづくり推進協議会)

日 時:平成 31 年 2 月 3 日(日)14:00~16:00 入場無料

場 所:アスカル幸手 さくらホール(埼玉県幸手市平須賀 2380-1)

テーマ:人生 100 年時代に向かって～「生き方・働き方の未来」に向けて進化する

幸手市の地域保健・医療～

講 師:池田 智子(日本保健医療大学保健医療学部長・教授)

講 師:中野 智紀(東埼玉総合病院地域糖尿病センター長・医師)

イ. 本学教員の地域の公職、講師等委嘱

①池田智子 教授(看護学科)・保健医療学部長

- 幸手市・地域福祉計画推進委員会委員
- 独立行政法人労働者健康安全機構埼玉産業保健総合支援センター・
専門的研修講師
- 幸手市・道徳教育推進協議会議委員
- 幸手市・健康日本 21 幸手計画推進会議委員
- 幸手市・介護認定審査会委員
- 幸手市・介護保険運営協議会委員

②間中伴子 准教授

- 幸手市子育て支援センター事業 講師
- 学校法人柿沼学園(埼玉県久喜市)「ホームスタート産前産後支援事業」家庭 訪問ボラ
ンティアビジター養成講座 講師

③石崎順子 講師(看護学科)

- 久喜市・ファミリー・サポート・センター事業講習会講師

④増満昌江 講師(看護学科)

- 公益社団法人埼玉県看護協会看護学生実習指導者講習会 講師

⑤佐藤安代 助教(看護学科)

- 幸手市立上高野小学校・心肺蘇生授業インストラクター

⑥旭 竜馬 講師(理学療法学科)

- 第 8 回埼玉東部骨粗鬆症フォーラム講師(日本イーライリリー株式会社)
- 幸手市第 3 回ブランドメッセージ制作ワークショップ参加者

⑦加茂智彦 助教(理学療法学科)

- 幸手市第 2 回ブランドメッセージ制作ワークショップ参加者

⑧浅見 正人 助手(理学療法学科)

- 幸手市第 1 回ブランドメッセージ制作ワークショップ参加者
- 幸手市・介護認定審査会委員

2. 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 教育活動

日本保健医療大学保健医療学部看護学科は平成31年3月8日に第6回学位授与式を行い96名に学位が授与された。看護師国家試験は 名合格し、保健師国家試験では81名合格となった。国家試験の全員合格を目指し、4年次生に対する国家試験対策のみならず、新入生に対するリメディアル教育の充実や2年次生対象の低学年向け模擬試験の実施の他、全学年で補習を行うなど教育を充実させている。

保健医療学部理学療法学科では、2年次生が検査・測定実習として平成31年2月より初めての実習を行った。今後、3年次に評価実習、4年次に総合臨床実習Ⅰ・Ⅱが予定されており、病院を始めとする各実習施設と連携してより良い実習が行えるように調整していく。また、平成31年3月に2年次生を対象に低学年向けの模擬試験を実施するなど、理学療法士国家試験に向けても取り組んでいる。

(2) 研究活動

サイエンスカフェ等を通じ、研究者間の相互交流を促し、公的研究費の獲得等を促進し、研究活動を活性化させ、併せて教育活動にも好影響が生じるよう環境作りを進める。

また、幸手市との共同研究「健康長寿埼玉モデル「めざせ毎日10000歩運動教室」」では、幸手市での取り組みが埼玉県健康長寿優秀市町村表彰式で優秀賞を受賞した。さらに、本研究を通じ、本学教員も成果を挙げ日本予防理学療法学会において優秀賞を受賞した。今後も幸手市との共同研究を続け、地域貢献にも繋げていく。

サイエンスカフェ等を通じ、研究者間の相互交流を促し、公的研究費の獲得等を促進し、研究活動を活性化させ、併せて教育活動にも好影響が生じるよう環境作りを進める。

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積	摘要
埼玉県幸手市幸手 1961-2(幸手北キャンパス)	校地	20,309 m ²	幸手市から無償貸与、保健医療学部看護学科で利用
	校舎等	6,268 m ²	幸手市から無償譲渡、保健医療学部看護学科で利用
埼玉県幸手市平須賀 2-555(幸手南キャンパス)	校地	48,999 m ²	埼玉県から購入、保健医療学部理学療法学科で利用
	校舎等	11,587 m ²	埼玉県から購入、保健医療学部理学療法学科で利用

②施設設備の整備状況

ア. 幸手北キャンパス

- ・学生相談室を整備し、12月より医務室・学生支援室を開室した。

イ. 幸手南キャンパス

- ・平成30年度整備予定の図書をメディアセンターに配架した。
- ・学生相談室を整備し、12月より医務室・学生支援室を開室した。
- ・就職支援室を整備し、11月より開室した。

(4) 学生募集状況

看護系大学が全国で現在260校を超え、2020年には埼玉県の大宮に日本赤十字大学が新設を予定し、その後も浦和美園に順天堂大学が看護学科の新設を予定するなど、なお新設が相次いでいるおり、埼玉県に看護系大学を取り巻く経営環境はますます厳しさを増している。

このような状況の中、意欲的かつ学力・人物面で優秀な学生を確保することは、本学の目標・目的の実現のためにも最重要の課題である。

2020年度入学者募集での入試広報方針としては昨年度に引き続き、「全学体制での入試広報活動」を掲げ、重点戦略としては、①特長と強みの再構築(他校との差別化)、②早期募集の確立(タイミング広報の確立)、③インターネット広報の強化(自学媒体の強化)、④イベントの充実と戦略化(直接広報の強化)、⑤高校訪問の推進(高大連携の推進とネットワーク強化)を更に強化する。

また、パンフレットやホームページを新調する他、TwitterやInstagramといったSNSを利用した広報活動など、受験対象となる高校生目線の広報活動の展開していく。

定員の確保のために、看護学科240名、理学療法学科160名の受験者数の確保を目標とし、資料請求者やオープンキャンパスなどのイベント参加者を確実に受験につなげる仕組みづくりに取り組んでいく。

(5) 学生の進路状況

平成30年度卒業生 進路（内定）調査結果

R1.5.1現在

	病院・施設名	所在地	人数
1	上尾中央総合病院	埼玉県	1
2	イムス三芳総合病院	埼玉県	2
3	春日部市立医療センター	埼玉県	1
4	行田総合病院	埼玉県	2
5	久喜すずのき病院	埼玉県	1
6	越谷市立病院	埼玉県	1
7	済生会栗橋病院	埼玉県	7
8	埼玉医科大学総合医療センター	埼玉県	1
9	埼玉医科大学病院	埼玉県	1
10	埼玉県立病院局	埼玉県	5
11	埼玉病院	埼玉県	1
12	彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県	2
13	草加市役所	埼玉県	1
14	羽生総合病院	埼玉県	1
15	東埼玉総合病院	埼玉県	7
16	秀和総合病院	埼玉県	2
17	藤村病院	埼玉県	1
18	防衛医科大学校病院	埼玉県	1
19	北辰病院	埼玉県	1
20	まくり整形外科クリニック	埼玉県	1
21	みさと健和病院	埼玉県	2
22	三郷中央総合病院	埼玉県	1
23	埼玉医科大学短期大学（進学）	埼玉県	1
24	浅草病院	東京都	2
25	板橋中央総合病院	東京都	2
26	イムス板橋リハビリテーション病院	東京都	1
27	イムス東京葛飾総合病院	東京都	1
28	大森赤十字病院	東京都	1
29	島田療育センター	東京都	1
30	順天堂大学医学部附属順天堂医院	東京都	1
31	順天堂大学医学部附属練馬病院	東京都	1
32	苑田第一病院	東京都	1
33	東京医科大学八王子医療センター	東京都	2
34	東京医療センター	東京都	1
35	東京北医療センター	東京都	1
36	東京慈恵会医科大学附属病院	東京都	1
37	東京女子医科大学病院	東京都	1
38	成増厚生病院	東京都	1
39	西東京中央総合病院	東京都	1

	病院・施設名	所在地	人数
40	日本医科大学付属病院	東京都	2
41	日本大学医学部附属板橋病院	東京都	1
42	日本大学病院	東京都	2
43	武蔵村山病院	東京都	1
44	キッコーマン総合病院	千葉県	1
45	順天堂大学医学部附属浦安病院	千葉県	1
46	新松戸中央総合病院	千葉県	2
47	東京女子医科大学八千代医療センター	千葉県	1
48	海老名総合病院	神奈川県	1
49	北里大学病院	神奈川県	1
50	自治医科大学附属病院	栃木県	2
51	茨城西南医療センター病院	茨城県	5
52	群馬大学医学部附属病院	群馬県	1
53	米沢市立病院	山形県	1
54	北秋田市民病院	秋田県	1
55	会津中央病院	福島県	1
56	長野松代総合病院	長野県	1
57	伊勢赤十字病院	三重県	1
58	阪和病院	大阪府	1
合 計			90

◎埼玉県内の就職先：22 県外：35 ◎埼玉県内の進学：1

◎10施設（14名）が公務員として勤務

□就職・進路先内訳（都道府県別）

都道府県名	人数	割合
埼玉県	44	45.8%
東京都	25	26.0%
千葉県	5	5.2%
神奈川県	2	2.1%
栃木県	2	2.1%
茨城県	5	5.2%
群馬県	1	1.0%
山形県	1	1.0%
秋田県	1	1.0%
福島県	1	1.0%
長野県	1	1.0%
三重県	1	1.0%
大阪府	1	1.0%
未定	6	6.3%
合計	96	100.0%

87.5%

◎就職内定者89名のうち、36名が奨学金の受給者（40.4%）

(6) 幸手市との関係

幸手市との関係は、今年度も以下のような取り組みを実施し、良好な状態である。

- ①市の施設を入学式や学位授与式等の会場として利用した。
- ②平成31年2月3日幸手市区長会講演会に講師として池田智子保健医療学部長が参加。
- ③児童福祉審議会委員、幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議委員等に教員が就任し知見を提言した。
- ④教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書に教員が知見を提言した。
- ⑤第6次幸手市総合振興計画「若者サミット」に当大学の学生が参加した。
- ⑥幸手食べある記冊子作成に当大学の学生が協力した。

(7) 学院祭

5月19日(土)、20日(日)に開催した第9回共済学院桜祭は、来場者数が2日間で2000人以上となり過去最高であった。

一昨年より5月開催となったことで、1年生から3年生までが一体となり、活動することができたことで、学年ごとの横の繋がりがだけでなく、学年を越えた縦の繋がりが強まった。また、今年度は、幸手市内で活動している多くの団体をゲストに招き、ステージプログラムの出演やブースを出展してもらい、地域との交流もより一層深めることができた。本学が日頃より取り組んでいる地域貢献にも繋がり、次の開催においても、地域と協力して学院祭を開催していく。

(8) 認証評価

平成29年3月に公益財団法人日本高等教育評価機構から、本学は同機構が定める大学評価基準に適合している、という認定を受けた。

平成30年度は、認証評価で指摘された「改善を要する点」について、改善策を実施した。この実施状況及び結果は改善報告書として取りまとめ、令和元年7月に本学のHPで公開すると共に、公益財団法人日本高等教育評価機構へ提出する予定である。

(9) 看護学実習

看護学実習の目的は、学生が学内で学んだ専門的知識・技術・態度を実際の場面に応用し、看護の対象を全人的にとらえ、科学的根拠に基づいた看護実践ができる能力を養うことである。

本学では、看護学実習の位置づけは、4つに区分し、段階的な学習ができるように組まれている。最初は、1年次前期 基礎看護学実習Ⅰとして、7月9日から7月20日の期間実施された。目的は、「看護の対象を“生活者”として理解し、看護への興味と関心を深め、4年間の学習を動機づけること」である。実習病院は、4施設に分かれ、臨地実習を終えた。1年生は、初めての臨地実習であることから、緊張しながらも患者様とコミュニケーションを円滑にし、信頼関係を築くことの大切さを学んでいた。

次に、2年次前期 基礎看護学実習Ⅱとして、8月20日から9月14日の期間実施された。実習目的は、「看護実践の中で対象を理解し、看護技術の適用や人間関係、看護過程を用いた看護の展開の仕方を学ぶ」ことである。実習病院は、3施設に分かれ、実施された。2年生の学習は2週間患者様を受け持ち、患者様との信頼関係を保つことや患者様が何を必要としているか、疾患の理解、

看護の必要性等観察力を高め、患者様のニーズの理解ができるように学習を高めている。

次の段階として、3年次後期に計画されている領域別実習は、小児看護学実習(10施設)、母性看護学実習(8施設)、成人看護学実習(7施設)、老年看護学実習(19施設)、精神看護学実習(4施設)、在宅看護学実習(16施設)であるが、成人看護学実習は学生の学習効果を考慮し、慢性期実習・急性期実習の2領域としてあることから領域別実習7領域の臨地実習が行われた。実習の目的は、「人の発達の特徴を理解し、健康障害に対する看護のケアを実践していく学習」である。学生は半年間という長期間の臨地実習であったことから、学生自身の人間的成長を促し、既習の理論・知識の活用の仕方を学習する良い機会となっている。

4年次前期「課題別実習」においては、これまでの学びを統合し、看護実践を通して看護学への洞察を深め、看護専門職としての自己の課題や卒業時までには明確にするとともに倫理的思考を用いた表現力を養うことを目的に行った。

一般的に学生は、臨地実習終了後、さまざまな人々と出会い人間的成長が見られ、忍耐力、相手を尊重することの大切さを学んでいた。更に、知識の統合と実践への応用について学ぶと同時に日頃の学習不足を自覚していた。

(10) 公衆衛生看護学実習

公衆衛生看護学実習の目的は、地域住民の健康の保持増進、疾病予防、ならびに合併症や悪化予防を目指して組織的に展開される公衆衛生看護活動の実際を通して、基本的原則とその意義を理解することである。

本年度は、保健師コースを選択した学生22名に対して、4年次前期に5単位225時間の実習を、平成30年4月26日(木)から7月27日(金)の期間に実施した。5単位の構成は、保健所実習2単位、市町村実習3単位である。学生は、具体的な実習課題を明確にして実習にのぞみ、保健所実習では、地域保健の広域的、専門的、技術的拠点としての機能と、所属する保健師の役割を理解した。市町村実習では、地域診断、健康教育、家庭訪問、各種保健事業への参加を通して、地域住民に身近で利用頻度の高い保健サービスを提供する市町村の機能と、市町村に所属する保健師の役割について具体的な理解を深めた。

(11) 理学療法臨床実習

臨床実習は理学療法士の養成課程において大きな時間数を占めるのみならず、学内で修学した知識と技術及び態度を臨床現場における体験により統合する過程となる重要な科目と位置づけられる。

教育課程における臨床実習の目的は、「臨床実習指導者の指導・監督の下で基本的な理学療法に関する検査・測定の実施、評価、理学療法計画・目標の設定、理学療法の流れを実際に行い、さらに自主的にその一部を行えるようになること」である。

また、臨床実習は、社会人及び医療人としての礼儀や態度、資質を養うための目的意識、プロフェSSIONALとしての姿勢、知識・技術の確認、記録、守秘義務等の法と規則の遵守、Evidence-Based Practiceの原則、論理的思考、的確な報告等を含む統合教育であると位置づけている。

このような位置づけにある臨床実習では、将来、学生が医療、保健、福祉の分野において健康の維持及び増進に貢献し、リハビリテーションならびに医学の発展に寄与することができるよう卒業時に下記の項目を達成することを目標とする。

- ① 将来、理学療法 of いずれの領域に進む場合でも、必要になる基礎的な知識と技能を修得する。
- ② 生涯にわたって発展させるべき、医療、保健、福祉の専門職業人に必要な基本的態度および習慣を身につける。
- ③ 医学的諸問題を理学療法との関連において正しくとらえ、自然科学的、社会科学的小および心理学的方法を統合して解決するための基本的能力を修得する。
- ④ 知識・技能・態度を自ら評価し、かつ自発的学習と修練によってそれらを向上し続ける習慣を身につける。

このような目標を達成するためには、学外で実施する臨床実習では、2 年後期 2 週間 1 期における「検査・測定実習」、3 年後期 4 週間 1 期における「評価実習」、4 年前期 6 週間 2 期における「総合臨床実習」を配置し、4 年間の一貫した流れの中で段階的かつ体系的に知識・技能・態度の全ての側面の修得が容易なように配慮している。

平成 30 年度は検査・測定実習(2 週間, 2 年生後期)を「臨床実習を行うのに適当な病院、診療所その他の施設を実習施設として利用し得ること」(理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則第 2 条第 10 項)と照らし合わせた医療機関(病院、診療所)に依頼、各実習施設に対し学生 1 名を配置し実習を行った。学生ははじめての臨床現場において多くの経験を通し、自分自身の今後の課題を自覚し、実りある実習になった。多くの指摘事項もあったが、全員無事合格した。

Ⅲ 財務の概要

1 平成30年度決算の概要

平成30年度は、新学科理学療法学科が2期生を迎え、学生数は前年より増加しましたが、理学療法学科は引き続き定員割れでした。

(1) 資金収支計算書 平成30年度計算書類1頁から3頁

資金収支計算書は期中の学校法人のすべての収入および支出の内容と当期中の支払資金(現金といつでも引き出せる預金)の収支の顛末を明らかにするための計算書です。

【収入の部】

- (1) 「学生生徒等納付金収入」は授業料などの学費収入で30年度は865,785千円で予算比9,259千円増、前期比87,915千円増となりました。
- (2) 「手数料収入」は受験料、追試料を含み、予算比515千円増でした。
- (3) 「寄付金収入」は、今期は340千円の実績で、前年比335千円減です。
- (4) 「補助金収入」は、すべて経常経費補助金収入で、情報公開を進めたことで88,674千円となり、前年比15,370千円増になりました。
- (5) 「受取利息・配当金収入」は、銀行預金の利息収入等で、低金利状態が続いていることと、全額普通預金で運用していること、預金残が前期比減少したため、前期比7千円減の24千円となりました。
- (6) 「付随事業収入」は、「補助活動収入」と「施設設備利用料収入」で、売店の家賃収入等が含まれ、ほぼ予算通りで101千円でした。
- (7) 「前受金収入」は、主として平成31年度新入生の入学手続き時の納付金で、当期中に受入れた分です。30年度の資金収入でなく、31年度の収入になります。287,443千円で、予算比10,917千円減です。予算とのかい離は、新学科新入生数が定員数に及ばなかったためと分割納付の割合が増えたためです。前期比では、43,150千円減少しました。
- (8) 「その他の収入」「資金収入調整勘定」は、「前受金収入」とともに、会計上当期分の資金収入を明らかにするための勘定科目です。

(9)「前年度繰越支払資金」は、平成 29 年度から当期に繰り越した支払資金（現金預金残高）の額で、1,101,862 千円でした。

この結果、平成 30 年度期の資金収支収入の部合計は 2,201,581 千円となりました。

【支出の部】

(1)「人件費支出」には「教員人件費」「職員人件費」「役員報酬」「退職金支出」が含まれ、予算比 1,453 千円大で、616,953 千円でした。前期比では 2,414 千円減となりました。教員人件費は前期比 171 千円減の 494,790 千円で、職員人件費は非常勤職員の割合を増やした結果前期比 3,200 千円減でした。

(2)「教育研究経費支出」は、経費支出の内、教育活動を目的として支出した経費です。予算比 15,944 千円増の 159,562 千円でした。前期比では、8,885 千円減になります。

(3)「管理経費支出」は、経費支出の内、「教育研究経費支出」に該当しない経費支出で、学生募集に係る諸経費支出を含みます。予算比 14,202 千円増の 124,200 千円でした。前期比では 22,035 千円増となっています。内修繕費で前期比 9,471 千円増、印刷製本費で前期比 5,335 千円、報酬委託費で 6,696 千円増が主な要因です。

(4)「借入金等利息支出」は、日本政策投資銀行と埼玉りそな銀行からの借入金の当期中の利息支払い額で、4,034 千円でした。

(5)「施設関係支出」は、予算と同様当期の支出はありませんでした。

(6)「設備関係支出」は、教具備品の購入、事務所用 OA 機器購入、図書館用図書の購入、業務用ソフトウェアの購入が含まれています。予算比 6,483 千円大の 17,483 千円でした。当初予定になかったリソグラフの買替え 3,882 千円と会計ソフト変更でソフトウェア支出が 1,180 千円、図書購入で予算比 1,517 千円大が原因です。

(7)(8)「その他の支出」「資金支出調整勘定」は、会計上当期分の資金支出を明らかにするための勘定科目です。

(9)「次年度繰越支払資金」は、当期から来年度へ繰り越した支払資金（現金預金の残高）の額で 1,080,051 千円となって、前期末比 32,837 千円減少しました。

支出合計＝収入合計となるため、支出の部合計も 2,201,581 千円となります。

(2)事業活動収支計算書 平成30年度計算書類の10頁から11頁

当該会計年度の教育活動、教育活動以外の経常的活動、それ以外の活動の事業活動ごとに、収支の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の当該年度のすべての事業活動収入および事業活動支出の均衡の状態を明らかにするために作成する書類です。

【事業活動 収支】

「教育活動収入合計」は、予算比10,943千円大で、979,429千円でした。前期比では115,716千円増となります。主な項目では、学生生徒等納付金が869,785千円、手数料収入が17,236千円、経常経費等補助金が88,674千円になっています。

「教育活動支出計」は、予算比8,157千円増の1,014,373千円で、前期比では9,804千円増となりました。主な項目は、人件費が620,516千円、教育研究経費が257,911千円、管理経費が135,946千円で、減価償却費は110,095千円でした。

その結果、「教育活動収支差額」は、34,945千円のマイナスとなりました。尚、前期の教育活動収支差額は、140,856千円のマイナスでした。

ただし、減価償却費控除前では、75,150千円のプラスで、前期の29,310千円のマイナスから大幅に改善しました。

受取利息、借入金利息等の「教育活動外収支差額」は当初予算比245千円プラスのマイナス4,010千円で、長期借入金利息です。

以上の結果、当期の一般企業の経常利益にあたる「経常収支差額」は、38,955千円のマイナスとなりました。因みに前期は144,709千円のマイナスでした。

「特別収支差額」は、資産売却収入や現物寄付金で、今期は9千円のプラスで、その結果、基本金組入れ前の「当年度収支差額」は、38,946千円のマイナスとなりました。

また、当期中に固定資産から85,548千円を第1号基本金に組み入れたため、当年度収支差額はマイナス124,494千円で、「翌年度繰越収支差額」は、前期末の24,608千円からマイナス99,885千円と減少しました。

長期借入金の年間返済額49,074千円と同額を基本金に積み立てることと、減価償却費負担が1億円程度あるため、翌年度繰越収支差額の黒字化は当分の間難しい状況です。

(3)貸借対照表 平成 30 年度計算書類の 14 頁

当期中の取引に基づいて、年度末における財産の状態を明らかにするための書類です。一般企業の貸借対照表と同じものです。

【資産の部】

(1)「固定資産」は、1,536,704 千円で前期末比 92,603 千円減少しました。平成 30 年度期中の減価償却額が 110,095 千円です。因みに前年度の原価償却額は 111,546 千円でした。

(2)「流動資産」は、前期末比 26,486 千円減少しました。「流動資産」の内訳は「現金預金」1,080,051 千円（前期末比 21,811 千円減）、「未収入金」1,835 千円（前期末比 401 千円減）、前払金 19,693 円（前期末比 5,209 千円減）等です。

【負債の部】

(1)「固定負債」は、414,485 千円で、前期末比 45,511 千円減です。内長期借入金が 392,592 千円で前期末比 49,074 千円減ですが、49,074 千円を 1 年以内返済分として、短期借入金に振り替えたためです。「退職給与引当金」は 3,563 千円増加し、21,893 千円でした。

(2)「流動負債」は、462,907 円で、前期末比 34,632 千円減少しました。内訳は、未払金が前期末比 6,332 千円増の 48,635 千円、学納金等前受金が前期末比 41,662 千円減の 288,931 千円、預り金 76,267 千円で、1 年以内返済予定の長期借入金を短期借入金として計上していますが、これが 49,074 千円でした。

【純資産の部】

「基本金」とは、「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持する」ことを目的とするものです。

その内「第 1 号基本金」は、学校法人が設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額及び新たな学校の設置あるいは既存の学校の規模の拡大や教育の充実向上のために取得した固定資産の価額となります。

「第 4 号基本金」は、学校法人運営の安定のため、恒常的に保持すべき資金のことで、前年度の消費支出のうち、①人件費（退職金・退職給与引当金繰入額を除く）②教育研究経費（減価償却費を除く）③管理経費（減価償却費を除く）④借入金利息の決算額合計を 1 2 で除して得られた額以

上が必要です。

平成 30 年度末で、「第 1 号基本金」は、1,787,713 千円（前期末比 66,548 千円増）、「第 4 号基本金」は、74,000 千円（前期末比 19 百万円増）を計上しています。

【繰越収支差額の部】

基本金と繰越収支差額の合計額が、一般企業会計での自己資本に該当します。当期は、前期比で 38,946 千円減の 1,761,828 千円となりました。

1 平成 30 年度 資金収支計算書

単位：千円

収入の部	決算額	予算比	科目説明
学生生徒等納付金収入	869,785	+9,259	授業料・入学金・実験実習料など
手数料収入	17,236	+516	入試料、証明書発行など
寄付金収入	340	0	金銭による寄付金
補助金収入	88,674	+1,674	私学助成金収入
付随事業収入	101	+1	売店収入等
受取利息・配当金収入	24	△1	預金利息収入、債券売却差益など
雑収入	3,293	△507	その他の教育活動上の収入
前受金収入	287,443	△10,917	次年度納付金の受け入れ
その他の収入	163,764	+104,103	上記以外の収入（預り金・立替金
資金収入調整勘定	△330,940	△347	前年度前受金、預り金、立替金等収入
前年度繰越支払資金	1,101,862	0	=前期末現預金残高
収入の部合計	2,201,582	+103,781	
支出の部	決算額	予算比	科目説明
人件費支出	616,953	+1,453	教職員給与、賞与、役員報酬、退職金
教育研究経費支出	159,562	+15,944	教育関係の消耗品等の購入、支払
管理経費支出	124,200	+14,202	教育以外の消耗品等購入、支払
借入金等利息支出	4,034	△246	期中の借入金利息支払額
借入金等返済支出	49,074	0	期中の借入金返済額
施設関係支出	0	0	土地、建物、構築物支出額
設備関係支出	17,483	+6,483	教育研究機器、管理用機器備品、図書等
資産運用支出	0	0	有価証券購入等
その他の支出	208,649	+112,339	前期末未払金、預り金等支払額
資金支出調整勘定	△58,425	△13,558	期末未払金、前期末前払金
翌年度繰越支払資金	1,080,051	△32,837	=当期末現預金残高
支出の部合計	2,201,582	+103,781	

2 平成 30 年度 事業収支計算書

単位：千円

	収入の部	決算額	予算比	科目説明
教育活動 収入支	学生生徒納付金	869,785	+9,259	授業料・入学金・実験実習料など
	手数料	17,236	+516	入試料、証明書発行など
	寄付金	340	0	一般寄付金
	経常経費補助金	88,674	+1,674	私学助成金収入
	付随事業収入	101	+1	売店収入等
	雑収入	3,293	△507	上記以外の収入
	教育活動収入計	979,429	+10,943	
	支出の部	決算額	予算比	科目説明
	人件費	620,516	+16	含退職給与引当金繰入額
	教育研究経費	257,911	△5,707	含減価償却額
管理経費	135,946	+13,848	含減価償却額	
徴収不能額	0	0		
教育活動支出計	1,014,373	+8,157		
教育活動収支差額	△34,945	+2,785		
教育活動 外 収入支	収入の部	決算額	予算比	科目説明
	受取利息・配当金	24	△1	預金利息等
	教育活動外収入計	24	△1	
	支出の部	決算額	予算比	科目説明
	借入金等利息	4,034	△246	
	教育活動外支出計	4,034	△246	
教育活動外収支差額	△4,010	+245		
経常収支差額	△38,955	+3,030		

		収入の部	決算額	予算比	科目説明	
特別 収 支		資産売却差額	0	0	売却・処分益	
		その他の特別収入	9	+9		
		特別収入計	9	+9		
			支出の部	決算額	予算比	科目説明
		資産処分差額	0	0	0	売却・処分損
		その他の特別支出	0	0	0	
		特別支出計	0	0	0	
		特別収支差額	9	+9		
		[予備費]	0			
	基本金組入前当年度収支差額	△38,946	+3,090			
	基本金組入額合計	△85,548	△74,548			
	当年度収支差額	△124,494	△71,509			
	前年度繰越収支差額	24,608	0			
	翌年度繰越収支差額	△99,885	△71,509			

3 平成 30 年度 貸借対照表

単位：千円

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	1,536,704	1,629,307	△92,603
有形固定資産	1,521,394	1,613,425	△92,031
その他固定資産	15,310	15,882	△572
流動資産	1,102,516	1,129,002	△26,486
現金預金	1,080,051	1,101,862	△21,811
その他流動資産	22,465	27,140	△4,675
資産の部合計	2,639,220	2,758,309	△119,089
負債の部			
固定負債	414,485	459,996	△46,511
うち長期借入金	392,592	441,666	△49,074
流動負債	462,907	497,539	△34,632
うち未払金	48,635	42,303	+6,332
うち前受金	288,931	330,593	△41,662
負債の部合計	877,392	957,535	△80,143
純資産の部			
基本金	1,861,713	1,776,165	+85,548
繰越収支差額	△99,885	24,608	△124,493
純資産の部合計	1,761,828	1,800,774	△38,946
負債及び純資産の部合計	2,639,220	2,758,309	△119,089